

エネルギー通信 第22号

株式会社デベロップ
電話 (047) 320-0119
www.dvlp.jp
監修
第三種電気主任技術者

弊社クラウドモデル太陽光発電所
をご利用いただきありがとうございます。
ます。

今回は、「スマートメーター」について
ご紹介いたします。

現在、導入が急がれている 「スマートメーター」とは

スマートメーターは、
すでにご存知の方も多
いと思いますが、情報通
信機能を持った高機能
電力メーターです。



このスマートメー
ターは、単なる電力計量
計ではなく、さまざまな
機能を持つメーターです。電力会社から、電力料金に関
する各種選択メニューや省エネサービス、防災・セキュ
リティサービスなどの提供を受けることが可能です。

最大のメリットと言っても過言ではないのがピーク
シフトです。ピークシフトとは、1日の中で電力需要が
ピークに達する日中の電力消費の一部を、需要が小さい
夜間電力に移行させることを意味します。夜間に蓄電
池に充電しておき、日中にその充電された蓄電池の電
力を使うなどといった方法があります。消費者が電力
消費量を把握することにより節電意識が高まる効果も
あります。

課題としては、ネットワークを利用してデータの通信
を行うため、私たちが普段パソコンやスマートフォンで
インターネットを使っている時と同じように、ウイルス
や不正アクセスなどといった問題が発生するおそれ
があり、セキュリティの強化が必要でしょう。

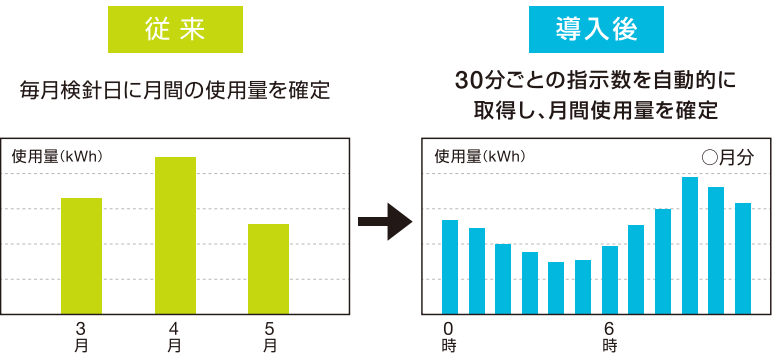
次世代のインフラとして注目されているメーター、そ
れがスマートメーターです。電力、ガスの使用量、または

遠隔開閉機能を搭載した次世代のメーターであれば、
エネルギーの消費量を消費者が簡単に見ることができ
ます。これを経済産業省の発表した資料によると、「見
える化」と呼んでいます。社会的にも、スマートメー
ターを設置することで、提供されたデータから新たな
サービスを創出させ、経済の活性化を促し、よりよいス
マート社会を目指していくことが容易になるのです。

新電力との関係

2016年4月1日からは一般家庭や商店等の
50kW未満の契約でも電力の小売全面自由化が実施
され、電力会社と自由に契約できることが決定して
おり、既に先行して事前受付を実施している新規参入の販
売会社もあります。

電力の自由化は、消費者の選択によって、電力会社を
選べます。それを支えるインフラとしてのスマートメー
ターや、ただ使用量の情報が見られるだけでなく、家庭
内の家電をコントロールすることで安価な料金メ
ニューにつながることもできるHEMSなど、さまざま
なIT技術が自由化を後押しするのです。



監修
第三種電気主任技術者